

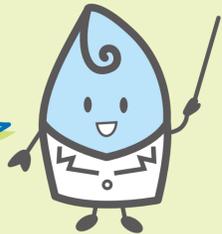
下水処理場の取り組み ～きれいな水を猪名川に～

池田市下水処理場では、昭和43年から供用開始しており、設備の老朽化が課題となっています。そのため、令和元年に『池田市公共下水道ストックマネジメント計画』を策定し、設備の計画的な更新や長寿命化対策を進めています。また、『池田市下水道総合地震対策計画』も策定しており、これらの計画を活用しながら効率的に土木施設の耐震化対策を図っています。

二系最終沈殿池No.1号池 機械設備工事(平成30年度)

最終沈殿池では、汚濁物質を食べて重くなった活性汚泥微生物が沈殿池の底にゆっくり沈みます。この沈んだ汚泥を取り除くため最終沈殿池の入口側に掻き寄せせる機械を更新しています。

掻き寄せ機の
能力が低下すると
処理水質が悪化して
しまうんだ!



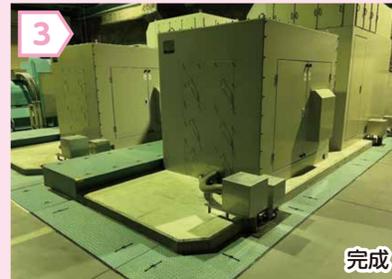
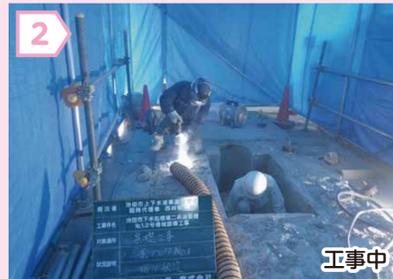
上段掻き寄せ機



下段掻き寄せ機



機械工事



電気工事



二系送風機No.1,2号

機械・電気設備工事(令和元・2年度)

反応タンク内の活性汚泥微生物は、下水中の汚れを食べることで水をきれいにする役割を果たしています。この活性汚泥微生物の活動を活性化させるには空気が必要になります。そのため、反応タンク内に空気を供給する送風機の更新をしています。

活性くんも
生き物だから空気が
必要なんだね!



放流ポンプNo.4号

機械設備工事(令和4年度)

最終沈殿池で汚泥を取り除いた水は、最後に消毒してきれいにします。このきれいになった水を猪名川へ送水するポンプを更新しています。

きれいになった
水をたくさん送らなきゃ
いけないからポンプも
大きいんだね!

